

静岡県月例経済報告

(令和 7 年 4 月号)

……令和 7 年 2 月を中心とした県内経済のすがた……

No. 588



— 静岡県経済産業部 —

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	7
・ 需要面	7
・ 生産面	15
・ 雇用面	17
・ その他	20
III 静岡県主要産業の動向	24
IV データからみた県内主要産業	27

利 用 に あ た っ て

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス (URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryo/getsureihoku/index.html>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和7年2月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概 況

令和7年2月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっている。雇用・所得環境や海外経済、金利・為替の動向等に十分注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる。

- ・ 個人消費は、持ち直している。
- ・ 設備投資は、製造業を中心に増加している。
- ・ 輸出は、弱い動きとなっている。
- ・ 生産は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。

（下線部は前月からの変更箇所）

需 要 面

「個人消費は、持ち直している」

大型小売店販売額（2月）は、百貨店が6か月連続、スーパーが4か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも4か月連続で前年実績を上回った。

専門量販店等販売額（2月）は、コンビニエンスストアが5か月ぶりに前年実績を下回ったものの、家電大型専門店が4か月連続、ドラッグストアが46か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも38か月連続で前年実績を上回った。

自動車（新車）新規登録台数（2月）は、乗用車、軽自動車がいずれも2か月連続で前年実績を上回ったため、総数でも2か月連続で前年実績を上回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数（2月）は、貸家が2か月ぶりに前年実績を下回ったため、総数でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額（2月）は、4か月連続で前年実績を下回った。

「設備投資は、製造業を中心に増加している」

日銀短観（12月調査）の令和6年度の設備投資（含む土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（2月）は、2か月ぶりに前年実績を下回った。

「輸出は、弱い動きとなっている」

「輸入は、前年を下回った」

輸出総額(2月)は、二輪自動車類が2か月ぶり、原動機が2か月連続、エアコンが9か月連続で前年実績を上回ったものの、自動車、自動車の部分品が6か月連続、科学光学機器が7か月連続で前年実績を下回ったため、総額でも2か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額(2月)は、パルプが6か月連続、紙類及び同製品が3か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品、木材、原動機、自動車の部分品がいずれも2か月ぶりに前年を下回ったため、総額でも2か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、1,189億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、持ち直しの動きに足踏みがみられる」

鉱工業生産指数(2月)は、電気機械が6か月連続で前年水準を上回ったものの、輸送機械、食料品・たばこがいずれも2か月ぶり、はん用・生産用・業務用機械が5か月連続、化学が2か月連続、パルプ・紙・紙加工品が4か月連続で前年水準を下回ったため、総合でも2か月ぶりに前年水準を下回った。なお、前月比は2か月連続で増加した。

鉱工業在庫指数は、総合では4か月連続で前年水準を下回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる」

有効求人倍率(2月)は1.09倍となり、前月を0.01ポイント下回った。49か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.15ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員(2月)は、23か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数(1月)は、2か月連続で前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った」

県内金融機関の貸出残高(2月)は、前年同月比 0.9%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(2月)は、前年同月比 47.7%減と前年実績を下回った。

「企業倒産は、件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回った」

企業倒産(3月)は、件数は26件(前年同月比 44.4%増)と前年実績を上回り、負債総額は4,227百万円(同 8.8%減)と前年実績を下回った。

<トピックス>

いくぞ、万博。



GEO
KITCHEN
SHIZUOKA



大阪・関西万博 静岡県ブース

GEO KITCHEN SHIZUOKA

2025 **6.6** fri → **6.8** sun



WEBサイトにて
出展に向けた最新情報を発信中!



©Expo 2025

<トピックス>

大阪・関西万博に静岡県ブース

「GEO KITCHEN SHIZUOKA」が3日間限定で登場！

静岡の雄大な自然と、それらが育んだ多彩な食の魅力を体感できる「ジオキッチン静岡」が、2025年6月6日(金)～8日(日)の3日間限定で大阪・関西万博に登場！ダイナミックな音と映像でGEOを感じるシアター、AI診断によるあなた好みのブレンド茶の提供、ワークショップ、プレミアムキッチンカーでの試食・試飲など多彩なコンテンツをご用意いたします。万博会場でお会いできるのを楽しみにしています！



1 ウェルカムゾーン～GEOの恵みを味わうおもてなし～ WELCOME TO SHIZUOKA

静岡県を代表する日本一の山、富士山をモチーフとしたファサード。ウェルカムドリンク「お茶のだし」で皆様をお迎えします。



2 導入ゾーン～GEOを感じるシアター～ SHIZUOKA FOOD THEATER

大ビジョンモニターと2台のモニターが設置されたシアター。静岡の自然と食の魅力を、ダイナミックな音と映像でお楽しみください。



3 体感ゾーン～VRやワークショップで体感～ SHIZUOKA ADVENTURE

VRによるお茶・わさびの空中散歩体験や、AIお茶診断など、静岡の食の魅力を体感。工芸体験、お茶染め体験などを楽しめるワークショップも企画中！

4 深化ゾーン～静岡をより深く知ることができるギャラリー～ DISCOVER SHIZUOKA

特別展「和食展」の出展展示や、静岡県各市町の魅力を伝える展示から、静岡をより深く知ることができるゾーンです。



5 行動ゾーン～静岡の食をより深く味わうイベント広場～ FOOD CAPITAL PARK

静岡県産木材を使ったスペースでは、プレミアムキッチンカーで提供する「静岡お茶漬け」や静岡の多彩なお茶を楽しめます。県内市町のイチオシ食材を、万博オリジナル料理にかえてご提供。至福の一口をお楽しみください。



「GEO KITCHEN SHIZUOKA」WEB サイト
<https://geo.shizuoka-gastronomy.jp>



<トピックス>

世界お茶まつり 2025

World O-CHA(Tea) Festival 2025, Shizuoka, Japan



光輝燦然

#私のO-CHA和ールド

春の祭典 Spring Festival

2025 **4.19** (SAT) – **5.21** (WED)

静岡県全域及び首都圏、関西圏
Shizuoka prefecture
Tokyo metropolitan area
Kansai area

秋の祭典 Autumn Festival

2025 **10.23** (THU) – **10.26** (SUN)

静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」ほか
Shizuoka Convention & Arts Center GRANSHIP
Shizuoka City



公式HP



Instagram

主催
第9回 世界お茶まつり実行委員会

<トピックス>

「茶の都しずおか」で開催される世界お茶まつり2025では、
どなたでも楽しめる体験プログラムがいっぱいです!!

※プログラムの内容は、変更する場合があります。※下記写真はイメージです。

春の祭典

2025 4.19 (SAT) - 5.21 (WED)

新茶の緑が映える美しい季節に、
食や体験などのお茶関連プログラムを
実施します。



静岡県全域及び
首都圏、関西圏で
新茶フェアを
開催!

絶景フォトコンテスト



静岡県内のお茶のある絶景を
撮って応募しよう!

お茶巡りツアー



茶畑やお茶の体験施設、お茶カフェを
巡るお茶三昧ツアーを開催!

新茶フェア



新茶の購入、茶摘みやお茶の淹れ方体験、
期間限定スイーツなどを楽しもう!

スマホdeスタンプラリー

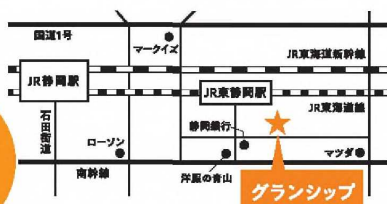


お茶の体験施設や販売店、
お茶カフェなどを巡って賞品をGET!

秋の祭典

2025 10.23 (THU) - 10.26 (SUN)

会場では、国内外の様々なお茶を楽しむコーナーや、
お茶や茶器の販売、新しい時代のライフスタイルに
合ったお茶の提案などが楽しめます。



グランシップ
にて開催!



ワールドO-CHAマーケット



いろいろなお茶や茶器など、
茶関連商品を展示・販売!

SweeTEAペアリング



コンテスト入賞スイーツと
お茶のペアリングを体験しよう!

Toshi
Yoroizukaの
お菓子も
販売!

※画像はイメージです

世界の路上茶屋体験



海外の路上茶屋を再現。
現地と同じ茶器でお茶を飲もう!

世界緑茶会議・茶学術研究会



海外で活躍する茶業関係者や流通業者、
研究者からお茶の最新情報を聞こう!

JR利用 東海道新幹線ひかり号

新大阪駅 約50分 名古屋駅 約60分 静岡駅 約60分 東京駅

東名高速道路利用

大阪(吹田) 約140分 名古屋 約120分 静岡 約120分 東京

【問合せ先】第9回世界お茶まつり実行委員会 ※詳細や最新情報は、公式ウェブサイトをご覧ください。
【Tel】054-202-1488 【Mail】wof@pref.shizuoka.lg.jp 【URL】https://www.ocha-festival.jp



Ⅱ 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

2 月 = 36,272百万円

* 前年同月比： 2.1%増

(県内3百貨店、163スーパー合計)

<概況>

2月の大型小売店販売額は36,272百万円で、前年同月比2.1%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比3.2%増）が6か月連続、スーパー（同2.6%増）が4か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、衣料品（同17.8%減）が2か月連続、身の回り品（同5.8%減）が4か月連続、家庭用品（同6.3%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、飲食料品（同2.6%増）が10か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は3.8%増と、14か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R6年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年1月	2月
販売額(百万円)	39,061	39,920	36,839	37,543	38,829	47,865	39,903	36,272
前年同月比(%)	▲0.7	5.0	3.1	▲0.6	2.9	2.3	2.1	2.1
うち百貨店(%)	▲1.8	▲6.9	8.9	2.6	2.7	2.2	3.3	3.2
スーパー(%)	▲0.5	6.7	2.2	▲1.2	2.9	2.4	1.9	1.9
(参考1)全国前年同月比(%)	1.1	4.4	1.8	▲0.5	3.5	2.9	2.9	0.6
うち百貨店(%)	5.3	3.8	2.2	▲0.8	3.4	2.8	5.1	▲1.7
スーパー(%)	▲0.6	4.6	1.6	▲0.3	3.6	3.0	2.1	1.6
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	0.6	5.2	3.9	0.2	3.6	3.0	3.2	3.8

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R6年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年1月	2月
衣料品	▲9.7	▲6.2	7.7	▲11.0	▲0.2	0.2	▲4.8	▲17.8
うち紳士服・洋品	▲10.2	▲3.7	▲1.8	▲19.2	▲4.3	▲1.4	▲2.7	▲19.5
婦人・子供服・洋品	▲10.1	▲6.6	10.8	▲7.4	1.2	▲0.1	▲5.8	▲17.8
身の回り品	▲21.6	▲25.1	▲16.2	0.2	▲1.3	▲1.3	▲8.5	▲5.8
飲食料品	0.0	6.9	2.3	0.3	3.0	2.1	3.5	2.6
家庭用品	1.1	12.1	7.3	▲3.1	2.8	4.1	▲3.1	▲6.3
うち家庭用電気機械器具	8.6	17.2	13.6	▲2.9	4.2	6.9	▲2.8	13.4

(注) 店舗数調整済、全月速報値

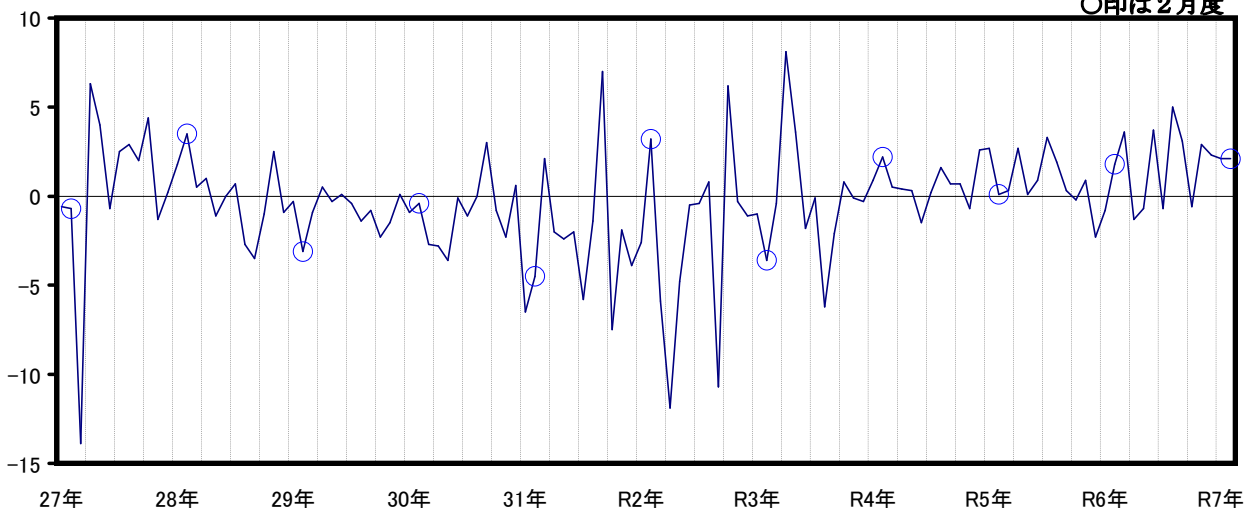
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は2月度



(2) 専門量販店等販売額

2 月 = 71,641百万円

* 前年同月比： 1.0%増

(県内93家電大型専門店、1,658コンビニエンスストア、605ドラッグストア、108ホームセンター合計)

<概 況>

2月の専門量販店等販売額は71,641百万円で、前年同月比 1.0%増となり、38か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、コンビニエンスストア（前年同月比 0.6%減）が5か月ぶりに前年実績を下回ったものの、家電大型専門店（同 5.5%増）が4か月連続、ドラッグストア（同 1.7%増）が46か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 6 年 7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月
販 売 額 (百 万 円)	85,399	84,904	77,100	77,382	77,216	89,980	76,831	71,641
前 年 同 月 比 (%)	1.5	5.2	1.3	0.4	3.0	4.5	3.0	1.0
うち 家電大型専門店 (%)	3.6	8.6	5.3	▲ 1.5	5.2	4.1	2.7	5.5
コンビニエンスストア (%)	0.2	0.8	▲ 0.5	1.0	1.8	2.9	2.8	▲ 0.6
ドラッグストア (%)	3.4	7.4	1.5	2.0	4.1	6.4	4.8	1.7
ホームセンター (%)	▲ 3.1	11.6	2.8	▲ 6.1	0.9	3.5	▲ 2.9	0.0
(参考) 全国前年同月比 (%)	1.7	3.8	1.7	1.4	3.5	3.5	4.5	2.1

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

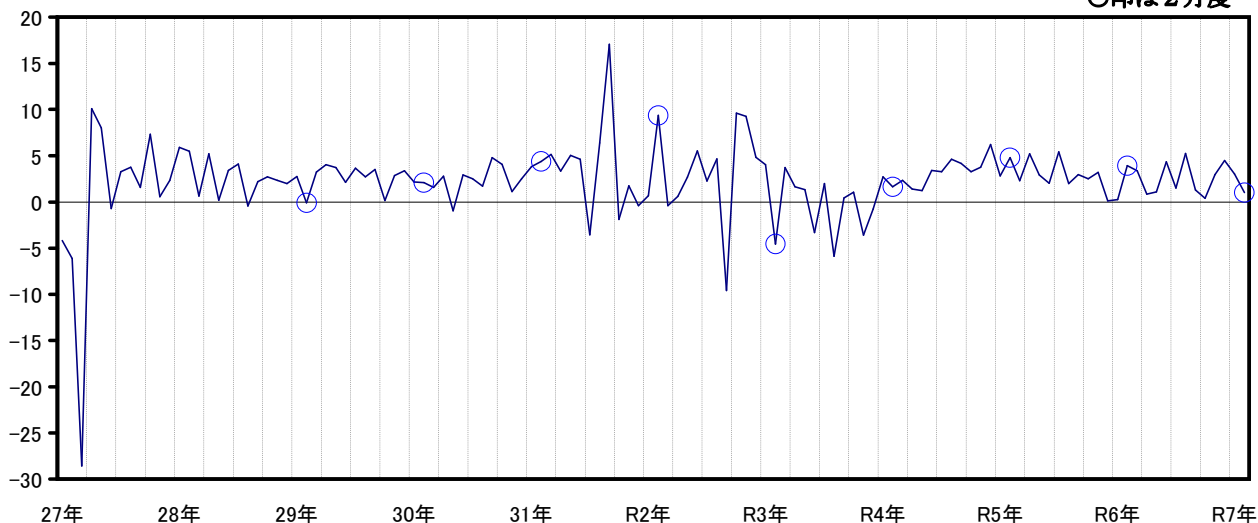
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は2月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数

2月 = 15,574 台

* 前年同月比 : 21.9%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

2月の自動車(新車)新規登録台数は、15,574台で、2か月連続で前年実績を上回った。
車種別にみると、乗用車(前年同月比 19.9%増)、軽自動車(同 24.3%増)がいずれも2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 6年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 7年1月	2月
登録台数(台)	13,289	10,981	14,498	13,935	13,461	11,603	14,274	15,574
前年同月比(%)	9.7	▲ 1.3	▲ 1.5	2.7	▲ 4.0	▲ 5.9	15.4	21.9
(参考)全国前年同月比(%)	5.5	▲ 3.2	0.8	1.0	▲ 3.9	1.7	22.8	18.8

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位: %)

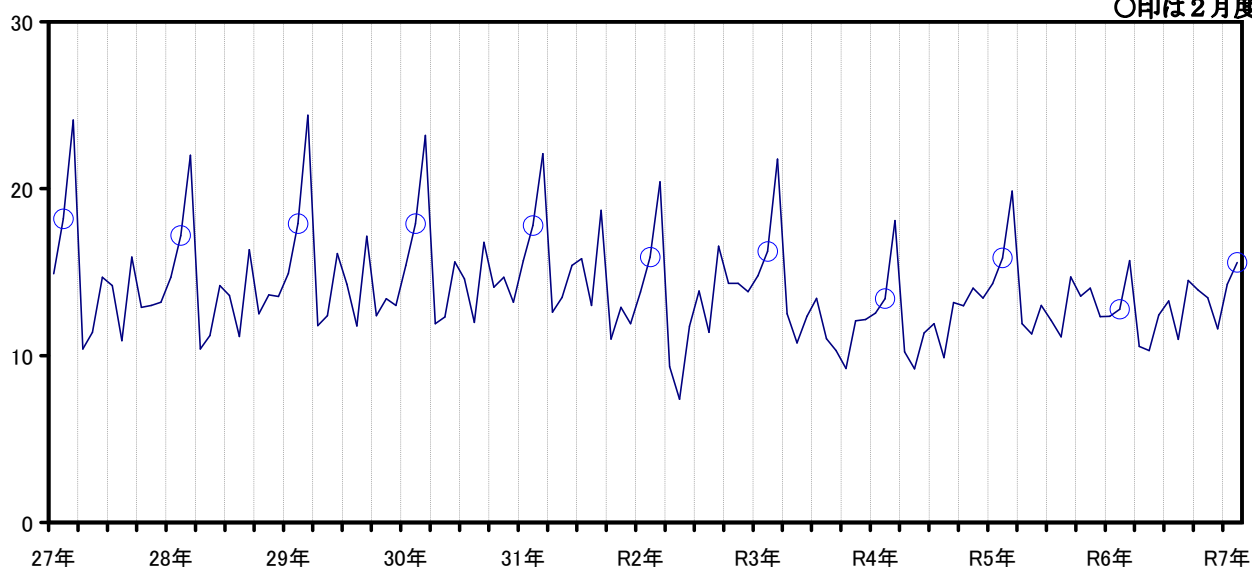
	R 6年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 7年1月	2月
全乗用車	9.7	▲ 1.3	▲ 1.5	2.7	▲ 4.0	▲ 5.9	15.4	21.9
乗用車	4.3	1.6	▲ 1.9	11.9	▲ 0.1	▲ 7.8	17.8	19.9
軽自動車	17.2	▲ 4.4	▲ 1.0	▲ 6.5	▲ 8.4	▲ 3.8	12.7	24.3

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課
○印は2月度



2 新設住宅着工戸数

2月 = 1,381 戸

*前年同月比： 11.0%減

<概 況>

2月の新設住宅着工戸数は1,381戸で、前年同月比 11.0%減と、2か月ぶりに前年実績を下回った。
利用関係別にみると、持家（前年同月比 3.1%増）が5か月連続、分譲住宅（同 15.9%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、貸家（同 37.5%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 6年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 7年1月	2月
戸 数 (戸)	1,638	1,656	1,359	2,046	1,396	1,047	1,995	1,381
前 年 同 月 比 (%)	▲ 4.3	▲ 18.3	▲ 13.7	44.9	▲ 3.9	▲ 30.8	51.6	▲ 11.0
うち 持 家 (%)	▲ 6.1	▲ 8.0	▲ 4.1	6.7	3.3	1.1	1.9	3.1
貸 家 (%)	34.7	▲ 31.7	▲ 22.4	60.3	▲ 34.6	▲ 67.7	174.3	▲ 37.5
分譲住宅 (%)	▲ 50.9	▲ 10.6	▲ 26.3	20.2	28.7	▲ 37.1	28.3	15.9
(参考)全国前年同月比 (%)	▲ 0.2	▲ 5.1	▲ 0.6	▲ 2.9	▲ 1.8	▲ 2.5	▲ 4.6	2.4

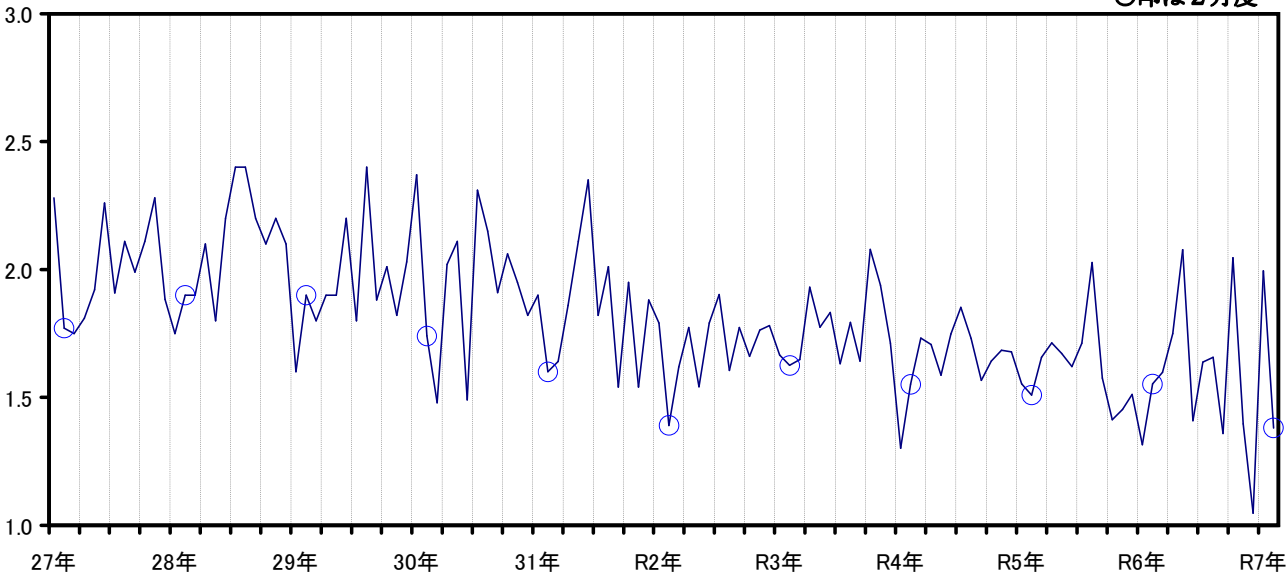
<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は2月度



3 公共工事請負金額

2 月 = 13,099百万円

* 前年同月比： 7.9%減

(建設保証会社保証実績)

<概 況>

2月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は13,099百万円で、前年同月比 7.9%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は192件で、前年同月比と同水準だった。

<最近の動き>

	R 6 年 7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月
金 額 （ 百 万 円 ）	35,109	28,030	32,375	21,867	18,118	11,371	15,285	13,099
前 年 同 月 比 （ % ）	29.2	7.0	▲ 4.2	7.3	▲ 1.7	▲ 26.2	▲ 14.9	▲ 7.9
年度累計前年同月比（%）	9.2	8.9	6.9	6.9	6.3	4.5	3.3	2.7
件 数 （ 件 ）	761	723	907	707	509	412	261	192
前 年 同 月 比 （ % ）	0.1	▲ 4.2	▲ 2.3	▲ 2.3	▲ 17.4	▲ 9.6	▲ 5.8	0.0
年度累計前年同月比（%）	1.3	0.1	▲ 0.4	▲ 0.7	▲ 2.5	▲ 3.0	▲ 3.1	▲ 3.0

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

	R 6 年 7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月
国	420.0	36.9	▲ 17.4	▲ 45.9	53.5	92.3	▲ 27.7	▲ 6.8
独 立 行 政 法 人 等	6.2	▲ 16.9	▲ 65.1	423.3	282.6	▲ 68.8	36.0	-
県	2.4	▲ 2.8	▲ 5.6	3.4	▲ 33.2	▲ 28.7	13.2	▲ 33.8
市 町	19.2	2.5	6.5	15.7	▲ 8.6	▲ 26.1	▲ 38.1	12.3
地 方 公 社	457.0	110.5	-	-	▲ 20.9	-	-	-
そ の 他	683.9	104.9	▲ 9.8	53.4	93.6	▲ 57.8	158.2	▲ 14.2

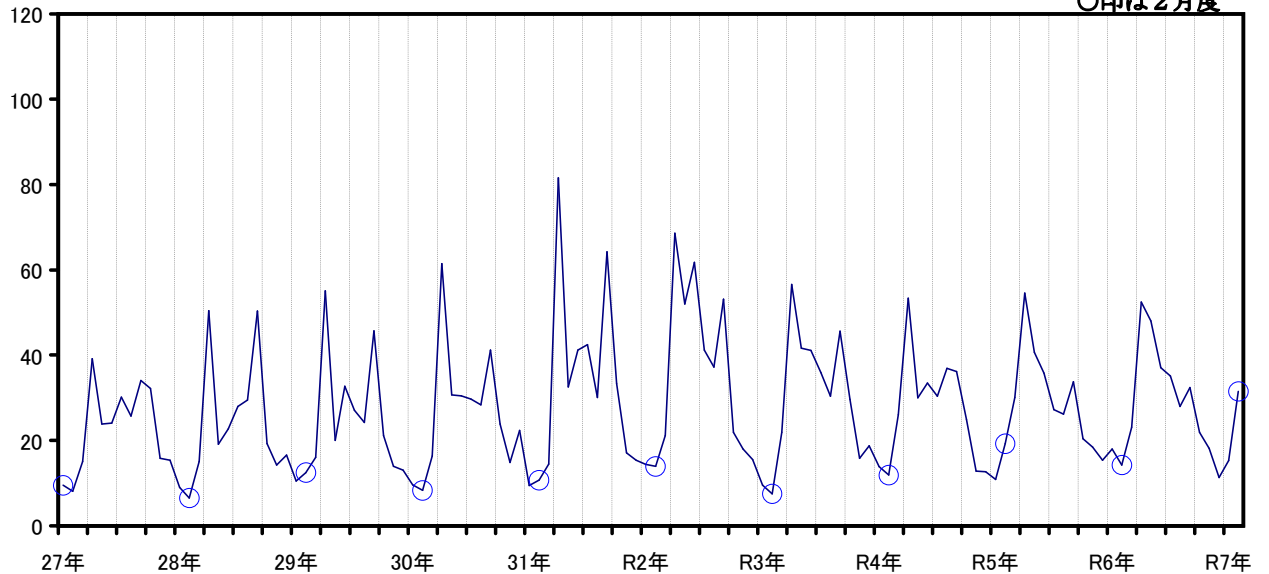
<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

○印は2月度



4 設備投資

<概 況>

令和5年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加した。

令和6年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 29.3%増）、非製造業（同 2.1%増）、全産業（同 16.5%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 17.0%増）、非製造業（同 2.1%増）、全産業（同 13.4%増）においていずれも増加する計画となっている。

2月の着工建築物床面積（非居住用）は69,348㎡で、前年同月比 73.6%減となり、2か月に前年実績を下回った。

＜企業短期経済観測調査結果＞（前年度比％（ ）内は前回調査比修正率）

設備投資（含む土地投資）

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
全産業	県	7.1	(▲1.6) 16.5
	全国	10.6	(0.8) 9.7
製造業	県	5.4	(▲3.1) 29.3
	全国	6.7	(▲1.6) 15.1
非製造業	県	9.0	(0.7) 2.1
	全国	12.8	(2.2) 6.7

		R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
全産業	県	8.1	(▲1.6) 13.4
	全国	9.4	(▲0.1) 10.0
製造業	県	8.2	(▲2.0) 17.0
	全国	6.5	(▲0.7) 12.1
非製造業	県	7.9	(0.0) 2.1
	全国	12.7	(0.7) 7.8

(注1) 平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

(注2) 平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）を追加

〈資料〉日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和6年12月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和6年12月調査)

＜最近の動き＞

	R 6 年 7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月
普通建築物床面積（非居住用）（㎡）	61,293	67,266	88,251	128,072	62,220	54,072	161,859	69,348
前年同月比（%）	▲ 41.7	▲ 19.8	67.9	18.0	▲ 75.7	▲ 47.9	88.3	▲ 73.6
（参考）全国前年同月比（%）	▲ 8.8	▲ 13.4	▲ 3.8	▲ 27.3	▲ 0.6	▲ 14.3	▲ 23.9	2.5

(注3) 着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

〈資料〉国土交通省

＜参考 県内企業の業況判断D. I.＞

		R 6 年 9 月	R 6 年12月	R 7 年 3 月 (予測)
全 産 業		11	10	2
	製 造 業	▲ 2	1	▲ 9
	非 製 造 業	21	19	12
(参考) 全国 ・ 全産業		14	15	10

(注4) 業況判断D.I.：「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

〈資料〉 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和6年12月調査)」

5 輸出

2 月 = 219,794百万円

* 前年同月比： 2.9%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概 況>

2月の清水税関支署管内の輸出総額は219,794百万円で、前年同月比 2.9%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。
 主要な品目別にみると、二輪自動車類（前年同月比 2.3%増）が2か月ぶり、原動機（同 14.9%増）が2か月連続、エアコン（同 152.2%増）が9か月連続で前年実績を上回ったものの、自動車（同 33.0%減）が2か月連続、自動車の部分品（同 11.8%減）が6か月連続、科学光学機器（同 22.9%減）が7か月連続で前年実績を下回った。
 地域別にみると、米国向け（同 0.8%増）が11か月ぶり、アジア向け（同 5.0%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、EU向け（同 17.4%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 6年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 7年1月	2月
輸出総額（百万円）	245,526	206,954	217,157	212,513	205,783	242,029	164,049	219,794
前年同月比（%）	4.8	3.9	▲ 5.9	▲ 15.0	▲ 13.6	2.7	▲ 12.8	▲ 2.9
（参考）全国前年同月比（%）	10.3	5.6	▲ 1.7	3.1	3.8	2.8	7.2	11.4

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 6年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 7年1月	2月
原 動 機	▲ 22.0	▲ 28.2	▲ 17.5	▲ 14.0	▲ 30.8	▲ 21.1	1.1	14.9
エ ア コ ン	1.2	21.4	35.0	34.7	42.5	185.3	192.4	152.2
自 動 車	2.8	14.1	▲ 8.6	▲ 27.8	▲ 37.2	52.3	▲ 54.2	▲ 33.0
自 動 車 の 部 分 品	13.0	4.1	▲ 13.1	▲ 28.4	▲ 28.8	▲ 10.2	▲ 6.5	▲ 11.8
二 輪 自 動 車 類	18.0	23.2	1.7	▲ 23.6	▲ 27.3	6.6	▲ 44.5	2.3
科 学 光 学 機 器	27.7	▲ 10.0	▲ 30.9	▲ 46.7	▲ 25.0	▲ 28.2	▲ 14.8	▲ 22.9

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 6年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 7年1月	2月
ア ジ ア	17.3	10.5	3.6	▲ 5.8	▲ 1.5	▲ 2.2	6.0	5.0
米 国	▲ 5.8	▲ 1.3	▲ 8.2	▲ 17.2	▲ 7.5	▲ 11.8	▲ 11.0	0.8
E U	▲ 11.6	▲ 10.5	▲ 24.3	▲ 45.0	▲ 47.5	18.6	▲ 41.1	▲ 17.4

<資料>清水税関支署

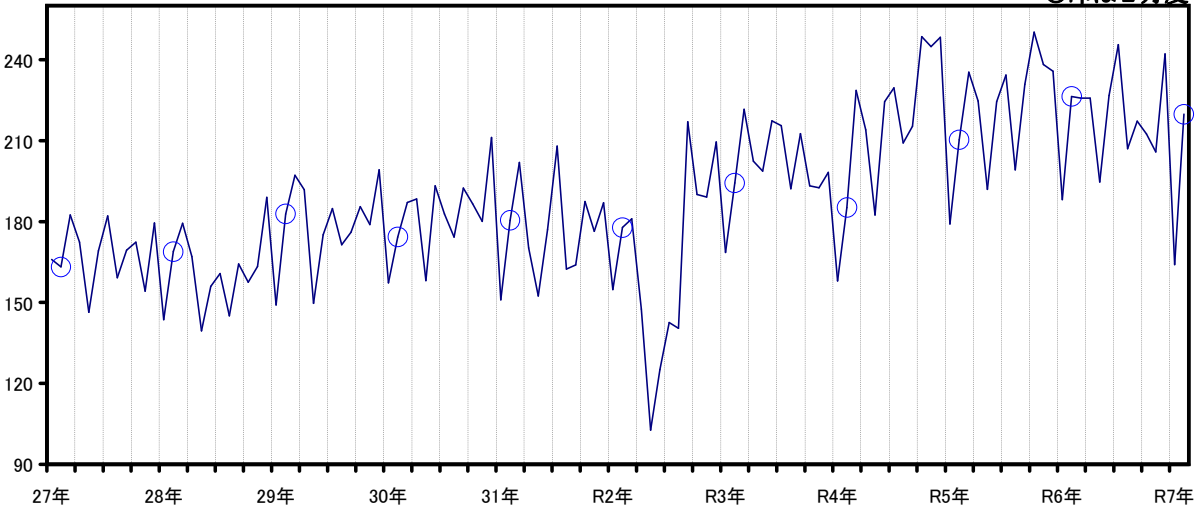
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
 なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は2月度



6 輸 入

2 月 = 100,889百万円

* 前年同月比： 8.9%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概 況>

2月の清水税関支署管内の輸入総額は100,889百万円で、前年同月比 8.9%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。
 主要な品目別にみると、パルプ（前年同月比 30.3%増）が6か月連続、紙類及び同製品（同 19.9%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品（同 3.3%減）、木材（同 22.4%減）、原動機（同 40.3%減）、自動車の部分品（同 22.7%減）がいずれも2か月ぶりに前年実績を下回った。
 地域別では、アジアから（同 12.3%減）が2か月ぶり、米国から（同 33.2%減）が2か月連続、EUから（同 3.8%減）が4か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 6 年 7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月
輸 入 総 額 (百 万 円)	124,872	112,292	115,964	113,396	104,878	120,797	139,988	100,889
前 年 同 月 比 (%)	12.1	4.9	1.7	▲ 3.1	▲ 14.6	6.4	▲ 5.4	▲ 8.9

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 6 年 7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月
魚 介 類 及 び 同 調 製 品	37.5	5.4	▲ 21.1	25.6	35.2	▲ 18.1	30.7	▲ 3.3
木 材	24.6	▲ 23.0	39.4	▲ 12.3	▲ 28.8	▲ 28.7	8.0	▲ 22.4
パ ル プ	95.3	▲ 21.1	16.5	39.7	20.0	56.7	55.7	30.3
紙 類 及 び 同 製 品	22.5	10.7	23.3	13.7	▲ 4.3	32.3	0.6	19.9
原 動 機	106.5	▲ 3.2	3.2	35.6	▲ 2.0	▲ 32.1	7.6	▲ 40.3
自 動 車 の 部 分 品	4.2	▲ 10.0	▲ 17.9	▲ 21.4	▲ 22.3	▲ 12.8	10.9	▲ 22.7

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 6 年 7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月
ア ジ ア	5.6	▲ 5.9	13.8	▲ 1.8	▲ 20.3	▲ 0.7	9.3	▲ 12.3
米 国	▲ 31.5	23.0	26.4	▲ 30.4	▲ 38.2	5.0	▲ 75.5	▲ 33.2
E U	16.4	24.9	71.7	▲ 9.9	20.9	15.0	164.0	▲ 3.8

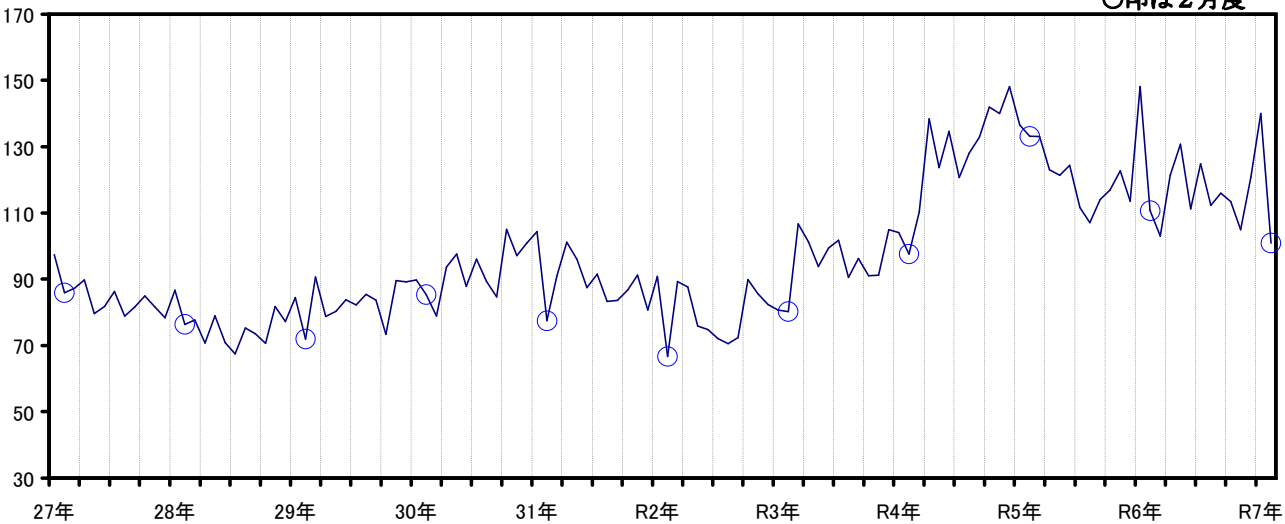
<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は2月度



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

2 月 = 97.3

(令和2年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.1%増

*前年同月比(原指数) : 5.1%減

<概況>

2月の鉱工業生産指数(総合)は97.3(季節調整済指数)で、前月比は0.1%増と、2か月連続で増加した。また、前年同月比(原指数)は5.1%減と、2か月ぶりに前年水準を下回った。業種別にみると、電気機械(前年同月比 17.0%増)が6か月連続で前年水準を上回ったものの、輸送機械(同 6.2%減)、食料品・たばこ(同 2.9%減)がいずれも2か月ぶり、はん用・生産用・業務用機械(同 31.3%減)が5か月連続、化学(同 7.7%減)が2か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同 3.5%減)が4か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R 6 年 7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月
指 数	98.9	95.8	95.1	96.4	96.1	92.9	97.2	97.3
前 月 比 (%)	2.9	▲ 3.1	▲ 0.7	1.4	▲ 0.3	▲ 3.3	4.6	0.1
前 年 同 月 比 (%)	2.8	▲ 3.5	▲ 3.3	▲ 3.2	▲ 3.6	▲ 3.9	4.2	▲ 5.1
(参考)全国前年同月比 (%)	2.6	▲ 4.9	▲ 3.2	0.8	▲ 3.3	▲ 2.2	2.2	0.1

(注)令和2年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位: %)

	R 6 年 7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 5.5	▲ 15.0	0.1	▲ 4.7	▲ 19.1	▲ 18.2	▲ 0.9	▲ 31.3
電 気 機 械 工 業	9.2	▲ 3.7	18.8	10.6	5.7	11.6	26.4	17.0
輸 送 機 械 工 業	6.1	▲ 11.7	▲ 15.1	▲ 9.5	▲ 12.7	▲ 13.7	0.0	▲ 6.2
化 学 工 業	▲ 6.0	15.9	3.2	▲ 9.6	14.2	9.4	▲ 8.4	▲ 7.7
パルプ・紙・紙加工品工業	4.1	2.3	▲ 0.1	2.7	▲ 0.2	▲ 3.8	▲ 2.1	▲ 3.5
食料品・たばこ工業	1.1	▲ 0.7	▲ 4.3	▲ 1.1	1.2	▲ 6.5	4.7	▲ 2.9

(注)令和2年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

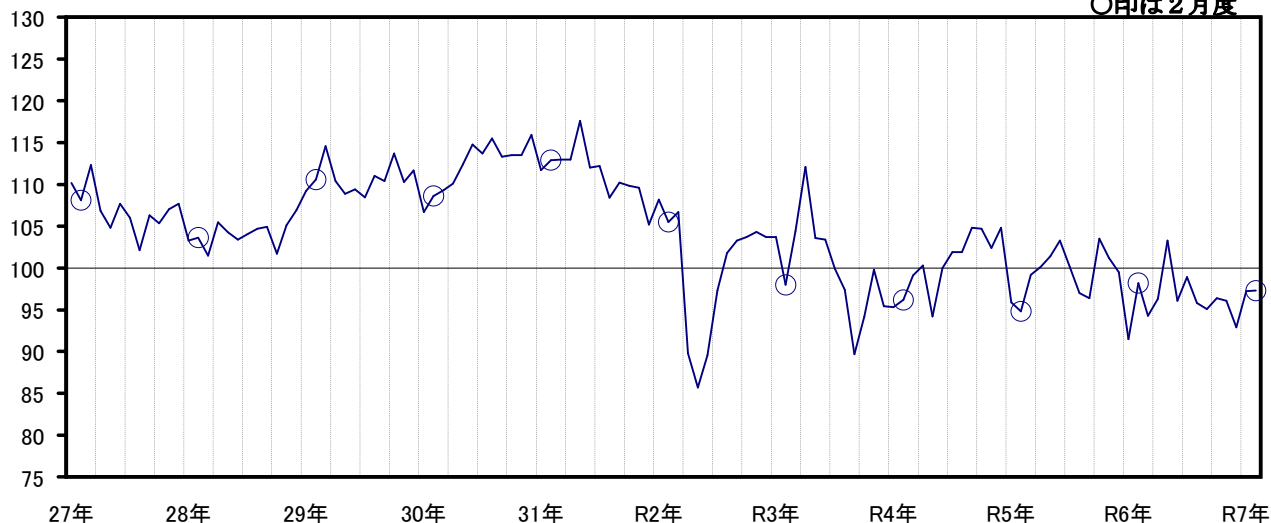
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計調査課

○印は2月度



(2) 鋳工業在庫指数

2 月 = 102.7

(令和 2 年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

* 前月比(季節調整済指数) : 2.9%増
* 前年同月比(原指数) : 1.8%減

<概 況>

2 月の鋳工業在庫指数（総合）は102.7（季節調整済指数）で、前月比は2.9%増と、2 か月連続で増加した。また、前年同月比（原指数）は1.8%減と、4 か月連続で前年水準を下回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面（景気後退期）」に該当する。

業種別にみると、輸送機械（前年同月比 7.8%増）が6 か月ぶり、化学（同 0.7%増）が4 か月連続、パルプ・紙・紙加工品（同 0.8%増）が9 か月連続で前年水準を上回ったものの、食料品・たばこ（同 0.8%減）が8 か月ぶり、はん用・生産用・業務用機械（同 12.3%減）が4 か月連続、電気機械（同 6.5%減）が18か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R 6 年 7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月
指 数	104.2	107.6	102.7	104.4	105.2	98.8	99.8	102.7
前 月 比 (%)	▲ 0.5	3.3	▲ 4.6	1.7	0.8	▲ 6.1	1.0	2.9
前 年 同 月 比 (%)	1.2	2.2	▲ 1.5	0.4	▲ 0.1	▲ 6.0	▲ 2.7	▲ 1.8
(参考) 全国前年同月比 (%)	▲ 2.4	▲ 2.1	▲ 1.2	▲ 1.0	▲ 2.0	▲ 1.9	0.6	▲ 1.4

(注) 令和 2 年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数 <資料> 県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位: %)

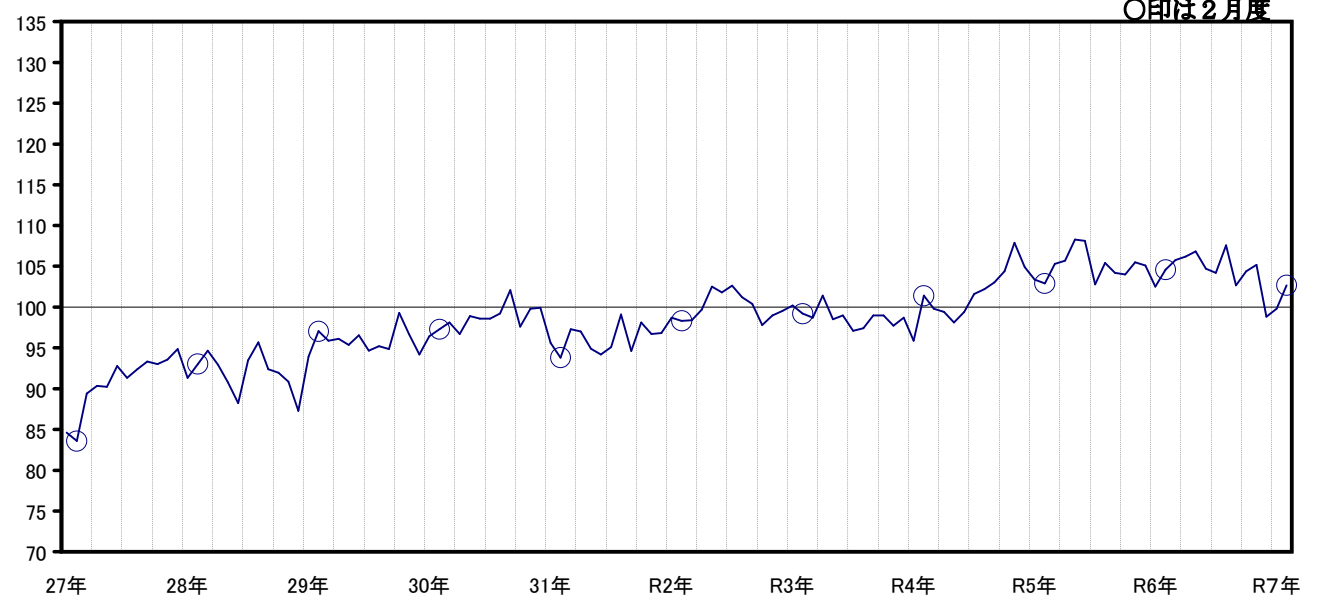
	R 6 年 7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 1.3	▲ 0.9	5.6	1.2	▲ 0.3	▲ 7.6	▲ 8.4	▲ 12.3
電 気 機 械 工 業	▲ 19.2	▲ 17.3	▲ 8.9	▲ 7.1	▲ 10.7	▲ 10.8	▲ 7.6	▲ 6.5
輸 送 機 械 工 業	26.8	15.1	▲ 18.9	▲ 3.0	▲ 4.8	▲ 29.1	▲ 10.6	7.8
化 学 工 業	▲ 4.1	1.2	▲ 3.1	▲ 0.6	6.4	4.7	4.5	0.7
パ ル プ ・ 紙 ・ 紙 加 工 品 工 業	1.0	2.7	7.1	6.2	6.3	4.5	2.0	0.8
食 料 品 ・ た ば こ 工 業	3.1	8.0	13.1	10.1	6.5	8.5	5.1	▲ 0.8

(注) 令和 2 年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数 <資料> 県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、令和 2 年=100)

<資料> 県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

2 月 = 1.09倍

*前月比（季節調整値）： 0.01ポイント減

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

2月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.09倍となり、前月を0.01ポイント下回った。49か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.15ポイント下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比 1.6%減）は3か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、卸売業・小売業（前年同月比 34.0%増）が3か月ぶりに前年実績を上回ったものの、情報通信業（同 13.4%減）、運輸業・郵便業（同 19.7%減）、医療・福祉（同 2.3%減）、サービス業（他に分類されないもの）（同 6.5%減）がいずれも2か月ぶり、建設業（同 5.0%減）、製造業（同 0.6%減）がいずれも4か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	R 6 年 7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月
県	1.11	1.12	1.12	1.11	1.09	1.08	1.10	1.09
全 国	1.25	1.24	1.25	1.25	1.25	1.25	1.26	1.24

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	R 6 年 7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月
建 設 業	4.8	▲ 7.6	▲ 14.4	13.7	▲ 9.5	▲ 12.8	▲ 3.5	▲ 5.0
製 造 業	5.5	▲ 12.1	▲ 18.3	12.7	▲ 10.1	▲ 14.2	▲ 4.2	▲ 0.6
情 報 通 信 業	16.6	50.8	15.0	13.7	0.6	▲ 26.6	26.0	▲ 13.4
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 9.2	▲ 1.1	12.2	7.7	▲ 13.5	▲ 4.9	21.9	▲ 19.7
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 4.1	62.6	▲ 42.6	▲ 27.9	45.5	▲ 41.8	▲ 31.8	34.0
医 療 ・ 福 祉	▲ 5.7	3.6	3.9	▲ 5.1	▲ 3.9	▲ 4.7	3.8	▲ 2.3
サービス業（他に分類されないもの）	2.7	▲ 12.9	▲ 14.9	3.3	▲ 9.9	▲ 13.0	4.7	▲ 6.5
合 計	0.6	4.1	▲ 12.5	▲ 0.5	0.2	▲ 13.6	▲ 4.4	▲ 1.6

（注）学卒、パートタイムを除く

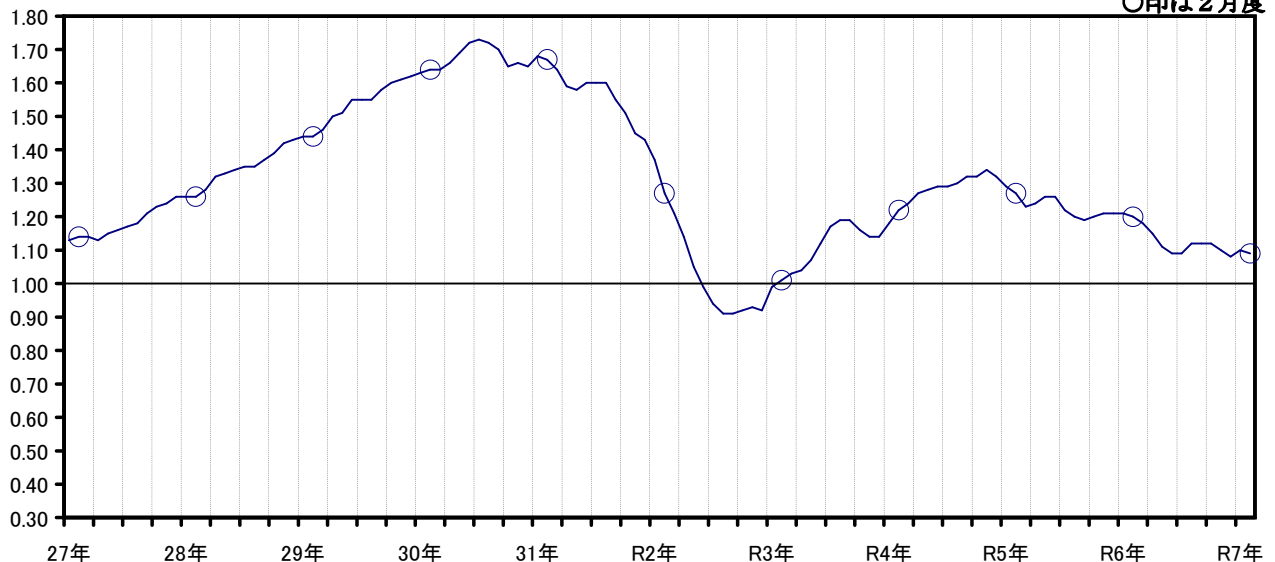
<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省

○印は2月度



(2) 雇用保険受給者実人員

2 月 = 11,522人

*前 月 比: 4.2%減

*前年同月比: 3.2%増

<概 況>

2月の雇用保険受給者実人員は11,522人で、前月比は4.2%減と、7か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は3.2%増と23か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は2.4%と前月から0.1ポイント改善した。

静岡県(令和6年10~12月)の完全失業率は2.0%で、前期(令和6年7~9月)から0.1ポイント改善した。

<最近の動き>

	R 6 年 7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月
実 人 員 (人)	13,862	13,588	13,188	13,146	12,297	12,282	12,029	11,522
前 月 比 (%)	11.2	▲ 2.0	▲ 2.9	▲ 0.3	▲ 6.5	▲ 0.1	▲ 2.1	▲ 4.2
前 年 同 月 比 (%)	9.1	1.9	3.8	2.6	2.4	5.9	4.9	3.2
(参考) 全国前年同月比 (%)	4.6	▲ 2.7	1.3	▲ 0.5	▲ 2.7	2.0	0.8	▲ 0.7

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R 6 年 7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月
完全失業率(全国) (%)	2.6	2.5	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.4

(注)季節調整値

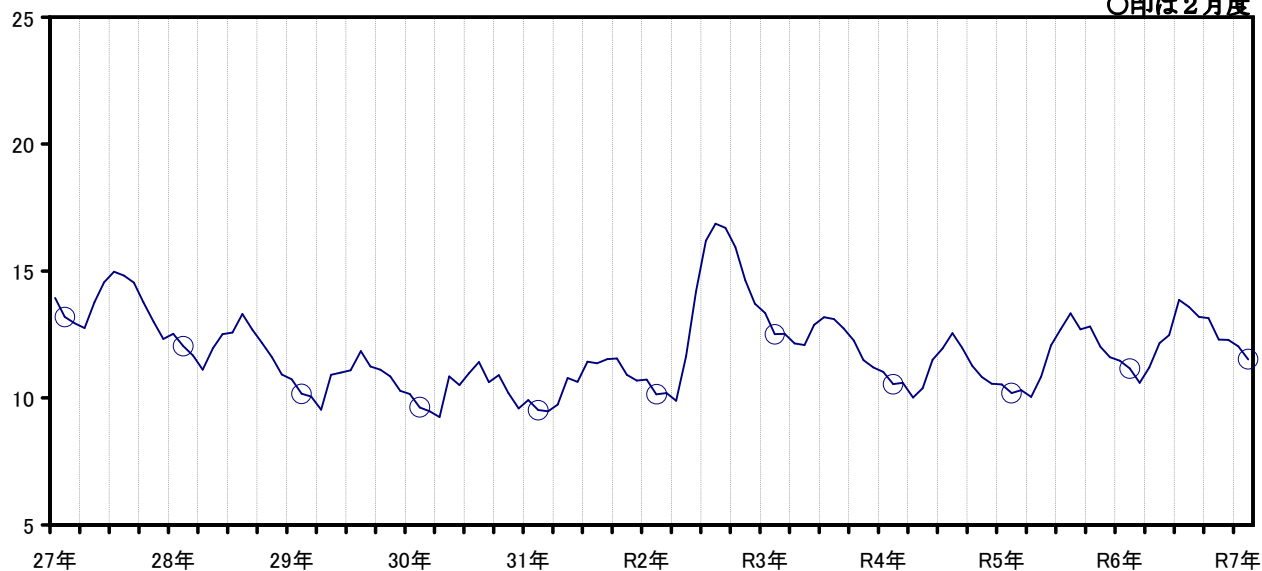
<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省

○印は2月度



(3) 所定外労働時間指数

1 月 = 113.8

* 前月比(季節調整済指数): 5.2%減

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) * 前年同月比(原指数) : 9.2%減

<概況>

1月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は113.8(季節調整済指数)で、2か月連続で前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は9.2%減と、3か月ぶりに前年実績を下回った。

業種別にみると、医療・福祉(前年同月比 5.1%増)が15か月ぶりに前年実績を上回ったものの、その他のサービス業(同 19.9%減)が13か月ぶり、建設業(同 36.7%減)が2か月連続、製造業(同 9.1%減)が5か月連続、情報通信業(同 8.0%減)が6か月連続、運輸業・郵便業(同 0.5%減)が13か月連続、卸売業・小売業(同 2.7%減)が5か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 6 年 6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月
指 数	128.3	124.5	120.6	125.9	119.1	129.3	120.1	113.8
前 月 比 (%)	▲ 3.8	▲ 3.0	▲ 3.1	4.4	▲ 5.4	8.6	▲ 7.1	▲ 5.2
前 年 同 月 比 (%)	4.8	5.9	4.4	4.8	▲ 1.5	9.5	3.2	▲ 9.2
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 2.5	▲ 0.8	▲ 2.7	▲ 4.1	▲ 2.3	▲ 1.7	▲ 3.3	▲ 0.9

*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位: %)

	R 6 年 6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月
建 設 業	▲ 11.9	▲ 15.6	▲ 17.5	31.4	▲ 11.7	11.7	▲ 2.7	▲ 36.7
製 造 業	▲ 2.7	2.8	2.1	▲ 1.3	▲ 3.1	▲ 2.5	▲ 2.5	▲ 9.1
情 報 通 信 業	▲ 54.0	16.6	▲ 26.2	▲ 60.8	▲ 31.7	▲ 39.4	▲ 37.1	▲ 8.0
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 19.1	▲ 26.1	▲ 15.6	▲ 16.5	▲ 18.5	▲ 14.9	▲ 20.3	▲ 0.5
卸 売 業 ・ 小 売 業	4.9	4.5	0.0	▲ 6.0	▲ 8.0	▲ 14.7	▲ 22.0	▲ 2.7
医 療 ・ 福 祉	▲ 26.6	▲ 15.9	▲ 14.8	▲ 20.4	▲ 15.5	▲ 14.5	▲ 9.0	5.1
その他のサービス業	31.8	27.1	32.7	18.5	26.8	58.3	40.3	▲ 19.9
調 査 産 業 計	4.8	5.9	4.4	4.8	▲ 1.5	9.5	3.2	▲ 9.2

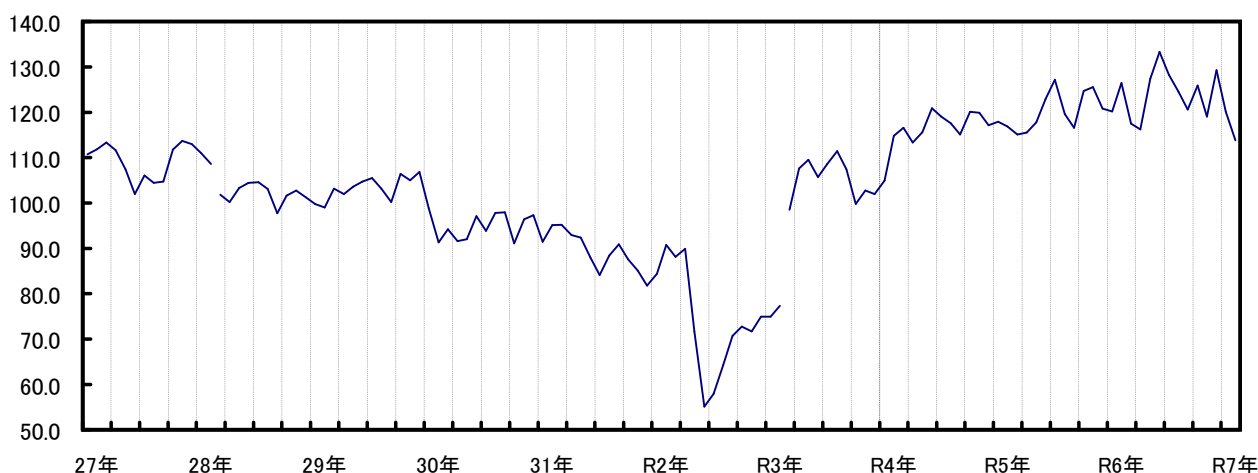
*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

(令和2年=100)

3 月 = 126.0

*前 月 比: 0.4%上昇

*前年同月比: 4.2%上昇

<概 況>

3月の国内企業物価指数は126.0となり、前月比は0.4%の上昇となった。また、前年同月比は4.2%の上昇となった。

	R 6 年 8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月	3 月
国内企業物価指数	123.1	123.5	124.0	124.4	125.0	125.3	125.5	126.0
前 月 比 (%)	▲ 0.2	0.3	0.4	0.3	0.5	0.2	0.2	0.4
前年同月比 (%)	2.6	3.1	3.7	3.8	4.0	4.2	4.1	4.2

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

(銀行、信用金庫)

2 月 = 143,648億円

*前 月 比: 0.0%

*前年同月比: 0.9%増

<概 況>

2月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は143,648億円で、前月比と同水準となった。また、前年同月比は0.9%の増加となった。

	R 6 年 7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月
貸出残高(億円)	142,553	142,956	143,445	142,622	143,425	144,158	143,689	143,648
前 月 比 (%)	▲ 0.3	0.3	0.3	▲ 0.6	0.6	0.5	▲ 0.3	0.0
前年同月比 (%)	0.2	0.7	0.4	0.4	0.8	0.5	1.0	0.9

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

(県内地銀4行総平均)

2 月 = 1.398%

*前 月 差: 0.014ポイント増

*前年同月差: 0.145ポイント増

<概 況>

2月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.398%で、前月から0.014ポイントのプラスとなった。なお、前年同月差は0.145ポイントのプラスとなった。

	R 6 年 7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月
貸出約定金利(%)	1.268	1.279	1.303	1.321	1.324	1.367	1.384	1.398
前月差(ポイント)	0.002	0.011	0.024	0.018	0.003	0.043	0.017	0.014
前年同月差(ポイント)	▲ 0.004	0.010	0.037	0.056	0.064	0.113	0.130	0.145

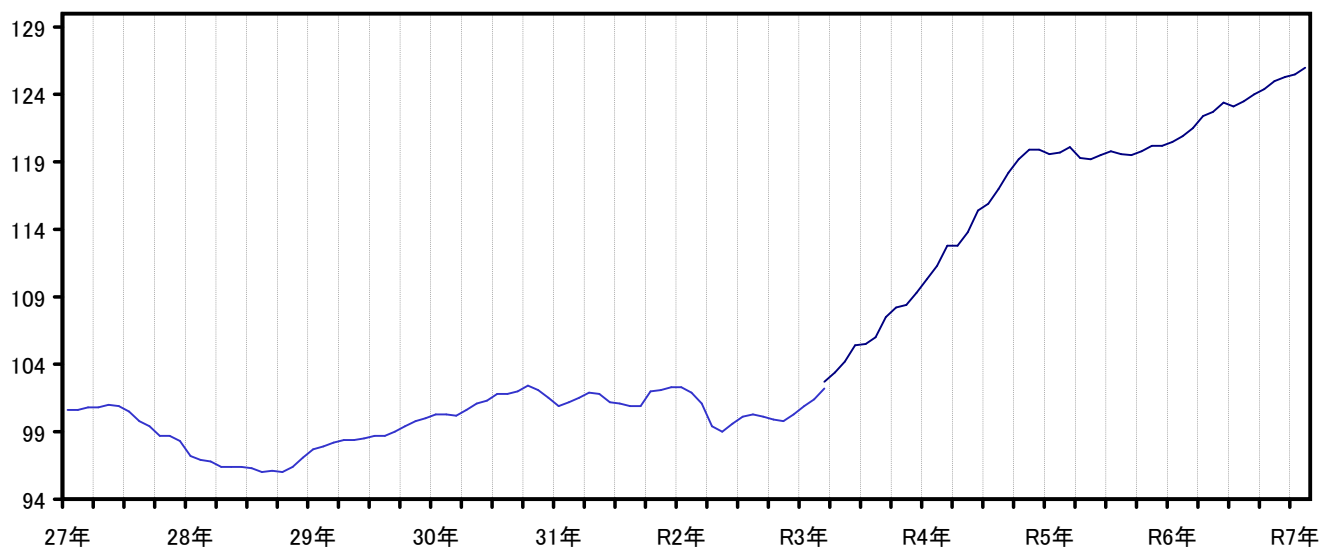
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

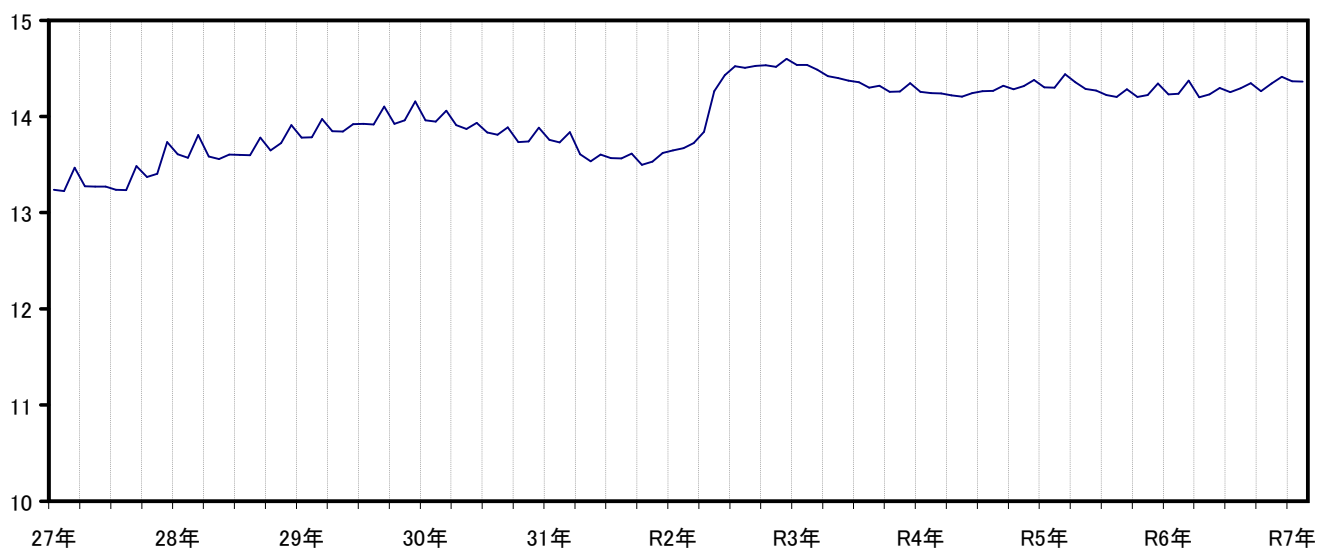
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



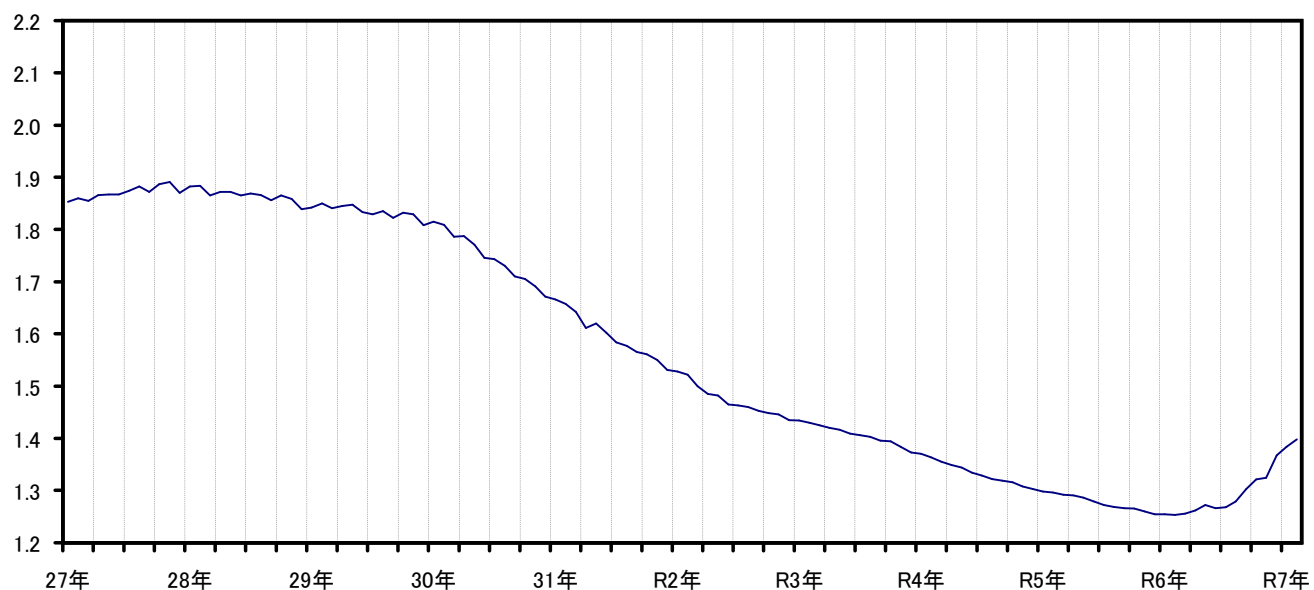
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額

2月＝12,702百万円

＊前年同月比：47.7%減

<概況>

2月の保証承諾は、金額は12,702百万円（前年同月比47.7%減）、件数は1,270件（同29.2%減）と、いずれも前年実績を下回った。

	R6年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年1月	2月
保証金額（百万円）	22,931	14,037	14,144	12,710	14,589	17,220	11,797	12,702
前年同月比（%）	▲9.6	▲47.3	▲40.5	▲42.5	▲43.0	▲45.8	▲44.5	▲47.7
保証件数（件）	1,803	1,387	1,481	1,296	1,373	1,444	1,190	1,270
前年同月比（%）	4.2	▲29.6	▲20.4	▲22.4	▲22.1	▲35.5	▲22.5	▲29.2

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場

3月＝149.18円/ドル

＊前月差：2.78円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

＊前年同月差：0.45円高

<概況>

3月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は149.18円で、前月と比べて2.78円の円高となり、2か月連続で円高となった。

<最近の動き>

▲…円高

	R6年8月	9月	10月	11月	12月	R7年1月	2月	3月
平均相場（円）	146.23	143.38	149.63	153.72	153.72	156.49	151.96	149.18
前月差（円）	▲11.83	▲2.85	6.25	4.09	0.00	2.77	▲4.53	▲2.78
前年同月差（円）	1.46	▲4.29	0.10	3.89	9.65	9.92	2.54	▲0.45

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営

企業倒産件数

3月＝26件

＊前年同月比：44.4%増

<概況>

3月の負債総額1,000万円以上の企業倒産は、件数は26件（前年同月比44.4%増）と前年実績を上回り、負債総額は4,227百万円（同8.8%減）と前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が23件と全体の88.5%を占め、23か月連続で50%以上となっている。

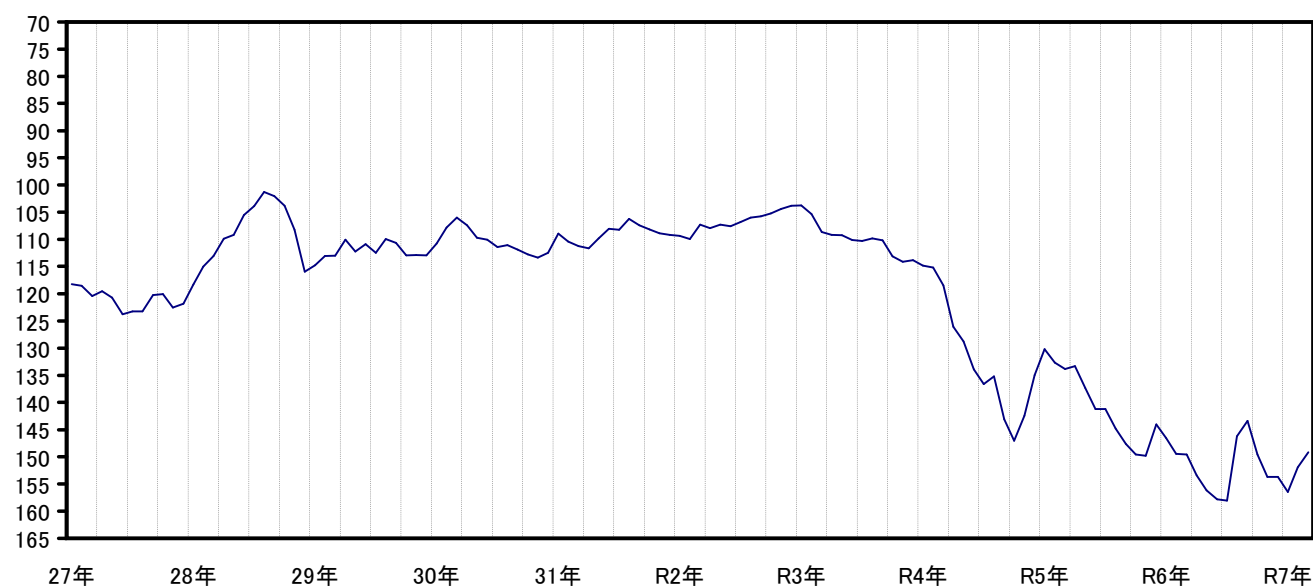
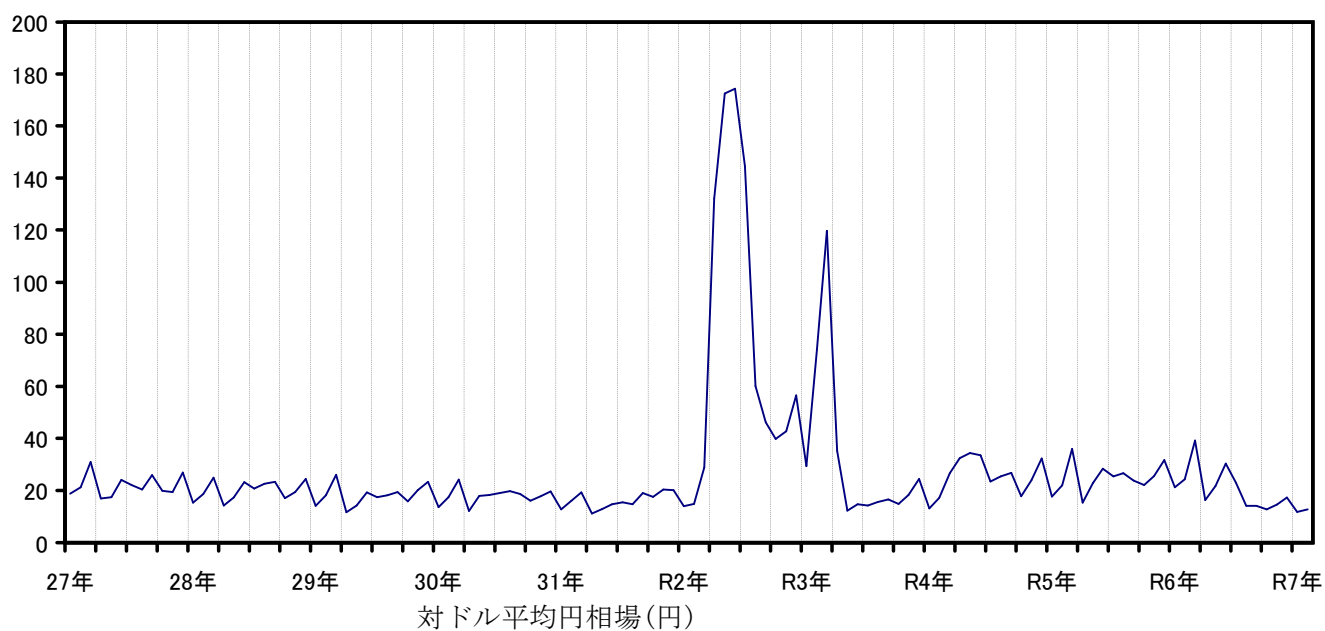
	R6年8月	9月	10月	11月	12月	R7年1月	2月	3月
倒産件数（件）	12	21	29	13	17	19	18	26
前年同月比（%）	▲20.0	▲32.2	70.5	▲31.5	▲10.5	26.6	100.0	44.4
うち不況型倒産件数（件）	10	21	22	12	15	15	17	23
負債総額（百万円）	2,029	2,843	4,255	1,354	1,530	2,011	2,450	4,227
前年同月比（%）	▲9.7	70.6	▲35.4	▲53.0	▲25.8	64.9	147.4	▲8.8

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

<過去10年間の推移>

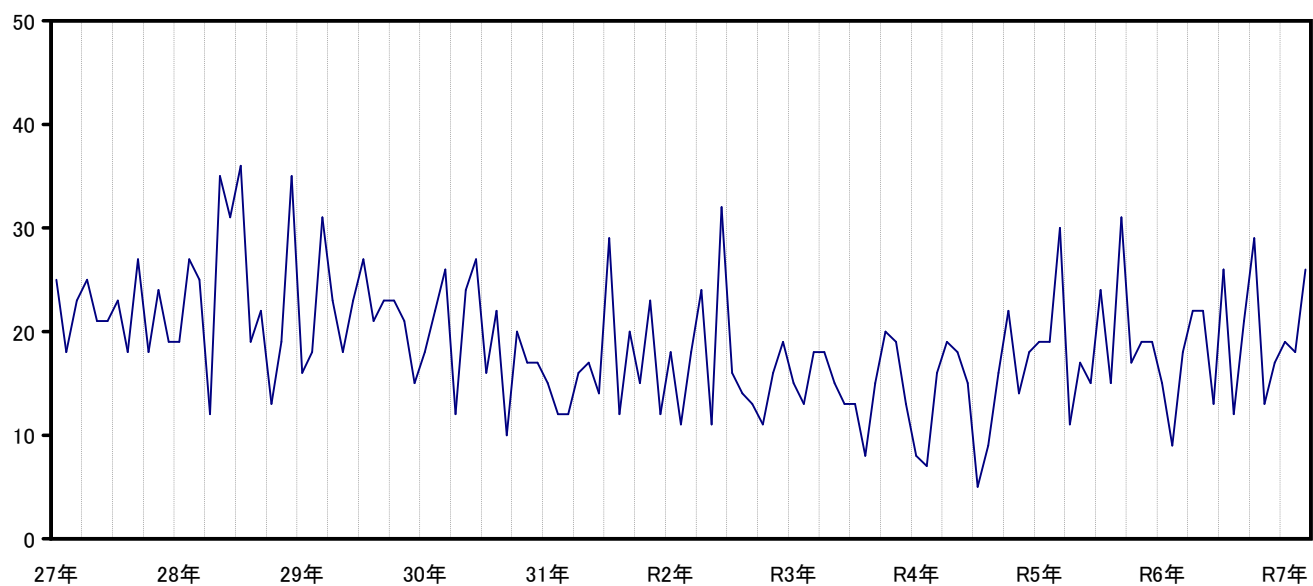
信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和7年2月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	1月の国内二輪車生産台数は、61,685台（前年同月比18.9%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、9,370台（同 38.5%増）で、7か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,214台（同1.3%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、2,238台（同35.7%減）で3か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、46,863台（同19.0%増）で、9か月ぶりに前年実績を上回った。 出荷台数は、国内向けは、24,727台（同9.9%減）で、13か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、33,888台（同17.8%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。 ＜資料＞日本自動車工業会
自 動 車	1月の自動車国内生産台数は、681,744台（前年同月比 17.9%増）と、6か月ぶりに前年実績を上回った。輸出は300,563台（同 1.8%増）と、9か月ぶりに前年実績を上回った。 国内生産は、トラック、乗用車がいずれも6か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも6か月ぶりに前年実績を上回った。 ＜資料＞日本自動車工業会
電気機械	2月の冷蔵庫の国内出荷額は308億円（前年同月比15.1%減）で、4か月連続で前年実績を下回り、国内出荷台数も251千台（同14.6%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。 2月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは659千台（同8.6%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。業務用は65千台（同4.8%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。 2月の携帯電話の国内出荷台数は、314千台（同27.0%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、225千台（同 32.1%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は 71.6%であった。 ＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J
生産用機械	2月の工作機械の受注総額は、1,181億9,800万円（前年同月比3.5%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。 内訳をみると、外需は844億3100万円（同 3.4%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが411億800万円（同12.9%増）で、11か月連続で前年実績を上回った。内需は337億6,700万円（同3.8%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。 ＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会

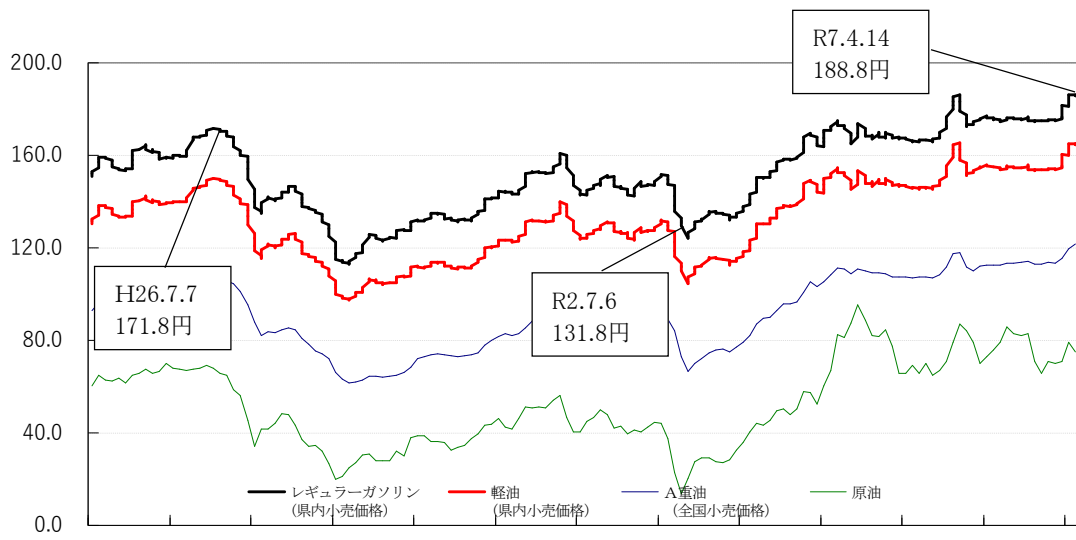
業 種	産 業 動 向
楽 器	2月の県内楽器メーカーの販売金額は、46億7,443万円（前年同月比 20.2%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが27億9,680万円（同 28.0%減）で、6か月連続で前年実績を下回り、国内向けが18億7,763万円（同5.1%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。 ピアノ生産台数は1,646台（同41.7%減）で、20か月連続で前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが864台（同 44.4%減）、グランドピアノが782台（同38.4%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,242台（同 38.6%減）で、20か月連続で前年実績を下回り、国内向けが824台（同 20.5%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞静岡県楽器製造協会
紙	2月の紙・板紙の国内出荷高は、1,543千トン（前年同月比 3.4%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は、紙は738千トン（同 3.6%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。板紙は805千トン（同3.3%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。 品種別では、主力の印刷・情報用紙が、383千トン（同 2.0%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、152千トン（同0.7%減）と、5か月ぶりに前年実績を下回った。 ＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」
缶詰・飲料	2月の県内生産量は、食缶類が国内向け876千箱（前年同月比3.7%減）で6か月ぶりに前年実績を下回った。 分類別でみると、水産缶（国内向け）は641千箱（同6.0%減）で6か月ぶりに前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は395千箱（同0.1%減）で、8か月ぶりに前年実績を下回った。 農畜産缶（国内向け）は235千箱（同3.0%増）で4か月ぶりに前年実績を上回った。 飲料缶類は、国内向けが5,744千箱（同6.3%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞静岡缶詰協会
織 維	2月の広幅織物の県内生産は、840千㎡（前年同月比 9.9%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、799千㎡（同 9.8%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、41千㎡（同11.2%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。 小幅織物の県内生産は、15千㎡（同 4.7%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合
家 具	2月の全国百貨店での家具販売額は、31億7,205万円（前年同月比2.8%減）と5か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、452億1,445万円（同5.6%減）と2か月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会

業 種	産 業 動 向
小 売 業	2月の県内百貨店・スーパーの販売額は、36,272百万円（既存店前年同月比1.1%増）と前年同月の実績を上回った。品目別に見ると、衣料品、身の回り品、家庭用品及び食堂・喫茶で前年同月の実績を下回ったが、飲食料品及びその他の商品の売上げが前年同月と比較して増加した。 中部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して、来客数が減少したが、売上げは増加した。衣料品及び身の回り品が好調だった一方で、家庭用品や雑貨（化粧品、美術・宝飾・貴金属等）の売上げが不調だった。 中部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して、来客数が減少したが、売上げは同程度であった。特に、映画館等サービス施設は大幅に来客数が減少し、全体の売上げにも影響した。 東部の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が減少した。1月末までの使用期限であったプレミアム商品券の終了に伴い、売上げが減少した。物価高騰の影響により、青果の売上げは好調だったが、精肉、鮮魚及び弁当・惣菜の売上げは、不調だった。 ＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課
観 光	令和7年2月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約30万人で、前年同月比28.5%増となった。 前年同月に休館となっていた施設の影響を除くと2.3%減であり、主な要因は、天候不順による屋外施設の入込が減少したことによる。 主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約55万台となり、前年同月比5.0%減となった。 ＜資料＞静岡県観光政策課

＜原油高の状況について＞

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー188.8円/Lと、平成20年8月以来の高水準。



出典：石油情報センター

Ⅳ データからみた県内主要産業

<二輪車>

	R 6年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 7年1月	2月
完成車生産台数(台)	22,084	23,027	19,633	23,502	27,598	29,175	20,007	22,378	24,615
前年同月比(%)	▲ 23.5	40.3	5.0	25.7	▲ 2.4	0.8	▲ 19.5	▲ 1.6	0.0
KD輸出額(百万円)	716	947	717	604	733	672	1,763	2,311	2,376
前年同月比(%)	▲ 9.2	▲ 29.9	▲ 17.9	▲ 30.9	▲ 44.5	▲ 53.4	3.4	100.4	72.6

<楽 器>

	R 6年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 7年1月	2月
生産総額(百万円)	3,339	3,619	2,621	2,960	3,404	3,091	2,851	2,724	2,749
前年同月比(%)	▲ 16.8	▲ 3.2	▲ 10.2	▲ 15.1	▲ 5.8	▲ 11.9	▲ 23.3	▲ 6.5	▲ 22.5

<缶 詰>

	R 6年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 7年1月	2月
食缶生産高(千ケース)	969	1,047	869	965	1,056	1,031	968	915	876
前年同月比(%)	▲ 3.3	2.6	▲ 8.9	0.3	12.4	0.8	4.0	7.1	▲ 3.7
うち水産缶詰(%)	▲ 1.9	7.2	▲ 0.7	8.0	15.9	4.5	6.8	12.2	▲ 6.0
農畜産缶詰(%)	0.4	▲ 10.0	▲ 27.0	▲ 17.3	3.9	▲ 8.2	▲ 2.8	▲ 6.1	3.0
飲料缶生産高(千ケース)	7,220	7,596	7,061	6,447	6,801	6,839	5,863	4,736	5,744
前年同月比(%)	▲ 3.7	3.3	▲ 0.4	▲ 9.9	2.8	▲ 2.7	▲ 7.8	▲ 10.5	▲ 6.3

<織 維>

	R 6年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 7年1月	2月
広幅織物(千㎡)	717	659	616	815	892	975	895	881	840
前年同月比(%)	3.5	▲ 2.4	▲ 9.1	1.8	2.9	▲ 7.0	▲ 10.4	▲ 10.3	▲ 9.9
小幅織物(千㎡)	18	18	16	17	16	17	20	15	15
前年同月比(%)	▲ 6.4	▲ 5.7	7.4	▲ 5.7	▲ 9.9	▲ 6.8	6.6	▲ 2.7	▲ 4.7

<観 光>

	R 6年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 7年1月	2月
延べ宿泊者数 (千人泊)	1,500	2,049	2,538	1,752	1,816	1,936	1,923	1,636	1,638
前年同月比(%)	4.5	6.6	▲ 3.0	▲ 2.1	4.2	2.0	3.4	▲ 1.4	▲ 8.4
観光施設(10施設)入込 (千人)	293	297	389	312	415	401	322	308	298
前年同月比(%)	▲ 7.2	▲ 14.3	▲ 11.4	▲ 17.0	▲ 11.8	▲ 12.5	▲ 3.6	25.6	28.5
有料道路(4路線)通行 量 (千台)	583	626	687	594	611	628	630	566	546
前年同月比(%)	11.4	0.1	▲ 1.0	1.7	1.0	1.1	2.7	0.5	▲ 5.0

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去 10 年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・ 大型小売店販売額	・ 鉱工業生産指数	・ 有効求人倍率	・ 国内企業物価指数
・ 専門量販店等販売額	・ 鉱工業在庫指数	・ 雇用保険受給者実人員	・ 県内金融機関貸出残高
・ 自動車新規登録台数		・ 完全失業率	・ 信用保証協会保証金額
・ 新設住宅着工戸数		・ 所定外労働時間指数	・ 企業倒産件数
・ 清水税関支所管内輸出額			
・ 清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資 料 名	提 供 元	ホームペーシアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資 料 名	提 供 元	ホームペーシアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告

令和7年4月号 通巻588号

発行 静岡県経済産業部
令和7年4月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/index.html>